

大河原町

# 議会だより

第132号 平成26年8月1日



夏本番。元気いっぱい水あそび。

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 仙南夜間初期急患センター建設へ ..... | ② |
| 「絵本のへや」存続請願採択 .....   | ③ |
| 町政への提言 .....          | ④ |
| 議決責任の明確化、政務活動費 .....  | ⑬ |
| 委員会調査報告 .....         | ⑱ |
| その後どうなったあの提言 .....    | ⑲ |



# 仙南夜間初期急患センター 平成27年3月オープンへ

## 夜間初期急患センター条例、医療事務受託が原案通り可決

### 仙南夜間初期急患センターとは

仙南地域2市7町（白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町・大河原町）で整備する平日夜間の急患センターが3月中旬に開院することが正式に決定しました。

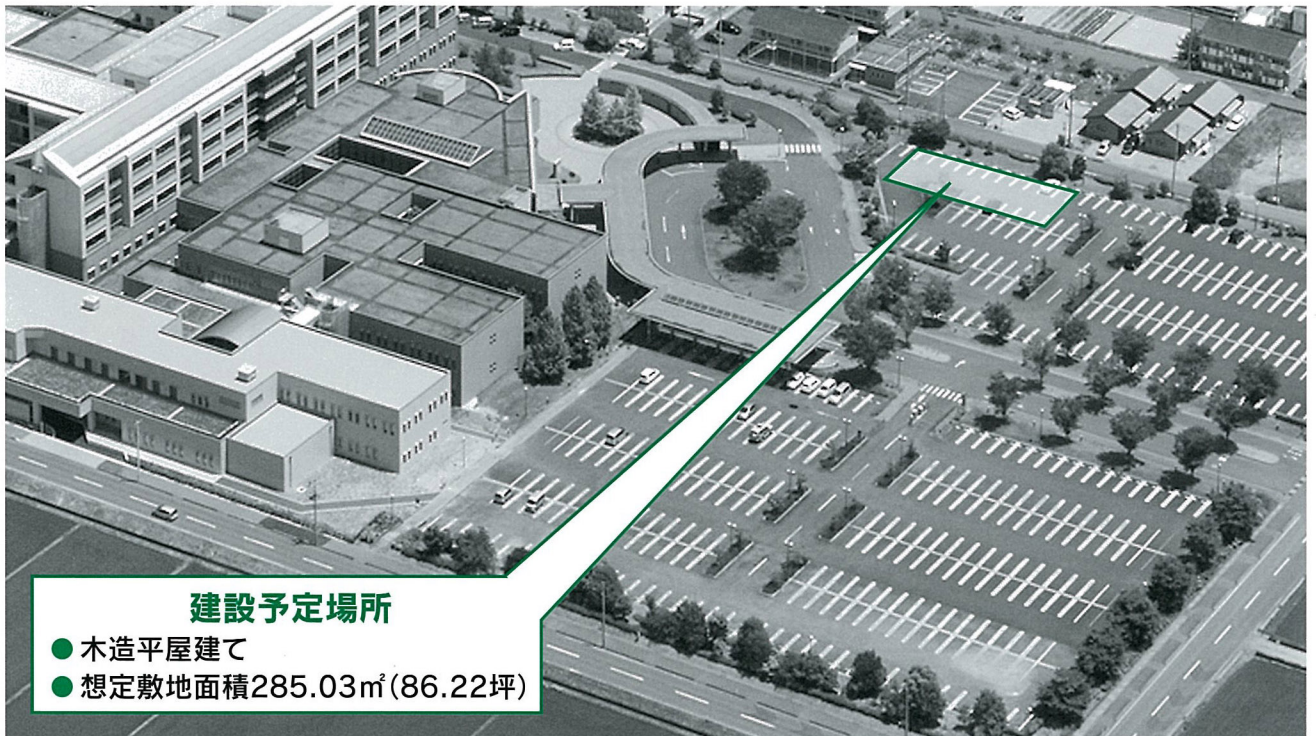
このセンターは、みやぎ県南中核病院の南側駐車場（図参照）に建設され、平日午後7時～10時に内科医が常駐し、軽症者の診療に当たります。高次医療を担う中核病院と公立刈田病院に向かう軽症者を受け入れて、両病院の負担軽減を担う役割があります。

- 名称：仙南夜間初期急患センター
- 場所：大河原町字西38番地1（中核病院南側駐車場）
- 診療科目：内 科
- 診療時間：月曜日から金曜日（国民の祝日に関する法律で定められた休日及び12月29日から1月3日までの日を除く）  
午後7時から午後10時
- 受付時間：午後6時45分から午後9時30分
- 対象年齢：16歳以上の成人（小児科は中核病院）

※5月会議において、「大河原町仙南夜間初期急患センター条例」の制定が可決されました。

各市町（白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町）においても、6月定例会議において「大河原町との平日夜間初期救急外来医療に関する事務の委託に関する規約」及び仙南夜間初期急患センターの負担基準等に関する確認書が議会に図られ、可決されました。

条例の施行日は、平成26年7月1日となります。



### 建設予定場所

- 木造平屋建て
- 想定敷地面積285.03㎡(86.22坪)



# 「絵本のへや」存続に関する 請願を採択

## 「絵本のへや」存続に 関する請願書

紹介議員 万波 孝子  
請願者 絵本のへやを守る会

### 趣旨

平成16年に開設された大河原図書館「絵本のへや」が突如廃止されることになった。10年間多くの役割を果たしてきた「絵本のへや」の継続を要望するもの。

### 理由

よりよい文化に触れ、豊かな人間性の形成が必要とされる幼児教育において、絵本は欠かすことができない。その絵本を楽しむ環境として多くの幼児、父母たちに親しまれ、大きな役割を果たしてきた。近年、教育先進地域として注目されている大河原町の中でも文化向上、児童教育の場として誇れる「絵本のへや」の存続は、未来の子どもた

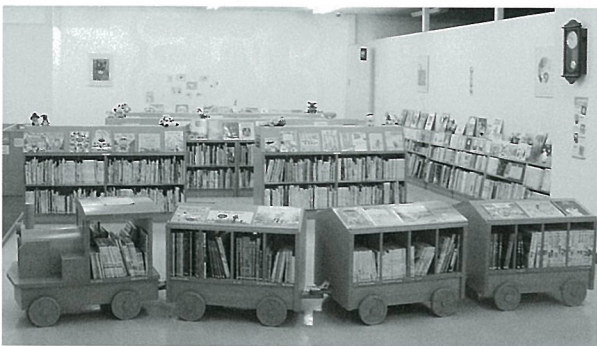
ちのためにも大河原町には非必要なものである。また、この「絵本のへや」が土日、休館で利用者の大幅な減少が確実視される「いきいきプラザ」で代われるものではないことは明白。10年前に設立された当初の理想を今ここで崩すことは、文化的にも経済的にも大きな損失である。

### 質疑

岡崎 10年前に設立された当初の理念についてどのよう議論されたのか。

万波 当時、自分なりに設置の必要性について、幼児期に絵本に親しむことがいかに大切か、子育ての核になる施設等と理解したと記憶している。10年経た今、絵本の貸し出し冊数は年間1万9000冊で一番多い。「絵本のへや」の存在価値が表れている。

堀江 請願が今日(6月19



▲駅前オーガ「絵本のへや」

日)採決されることについては、中身もよく分からないので、納得できない。通常の委員会付託にならないのか。

万波 町長のこれまでの説明では、「絵本のへや」は8月末で閉鎖する方針を変えない姿勢でいるので、委員会付託はできない。即決しない。

### 賛成討論

丸山 勝利 議員

機能を世代交流プラザに移転すると言うが、もともとプラザには「絵本のへや」の計画はない。機能移転は思いつき、場当たりのなもので計画性がない。

また機能分散は経費の面で財政状況を見ても現実的ではない。

佐藤 貴久 議員

求められる図書館像とは利用者のきめ細やかなニーズに応え、図書館本質の価値機能の拡充を図ることにある。分散化という明確な根拠もない手法は、利用者目線から逸脱している。絵本のへやは存続すべし。

賛成9人、反対4人

請願採択  
※退席1人

## 第2回定例会(6月会議) 主な一般会計補正予算

収入  
臨時福祉給付金事務・事業費補助金 6097万円  
子育て世帯臨時特例給付事務・事業費補助金 2965万円

地域少子化対策強化事業補助金 200万円

支出  
臨時福祉給付金 6000万円

子育て世帯臨時特例給付金 2940万円

子育て支援ハンドブック作成経費 200万円

中央公民館施設維持管理経費 275万円

図書機能強化経費(交流プラザ他) 93・7万円

### 反対討論

万波 孝子 議員

いきいきプラザや公民館に絵本の貸し出しや読み聞かせのコーナーを設けることは、絵本のへや閉鎖に係る必要はない。しかし、これが閉鎖を前提にした予算であること。更に議決前に広報に掲載したことは、議会無視で大問題である。  
※賛成多数で原案通り可決



## 一般質問

町政への提言  
Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回12人の議員が行った。

## 高橋 芳男 ..... P⑤

- 認知症の早期発見、対応を
- 難病関連2法への対応は
- 鳥獣被害防止対策の強化を

## 大沼 忠弘 ..... P⑥

- 学校教育の環境整備を
- 施政方針と具体的な事業内容を再確認

## 岡崎 隆 ..... P⑦

- 円滑な行財政改革を継続的に図るべき

## 万波 孝子 ..... P⑧

- 「絵本のへや」は存続すべき
- 昼間予約が取れないデマンド乗合タクシー
- 生活困窮者に救済の手を

## 柁 和也 ..... P⑨

- 公約・老人ホーム設立にどう取り組む
- ため池・用排水路等の安全施設の再チェック

## 安藤 征夫 ..... P⑩

- 「さくら」による町おこしを
- 公民館等に民間の経営手法を活用すべき
- 昆虫標本の一部売却の考えは

## 庄司 充 ..... P⑪

- 仮称大河原町・新町民体育まつりの復活を考える

## 堀江 一男 ..... P⑫

- どうする空き家等対策
- 側溝等の汚泥処理

## 須藤 慎 ..... P⑬

- 公園等への複合遊具・健康遊具導入を
- 職員研修に積極参加を

## 丸山 勝利 ..... P⑭

- 「絵本のへや」が突然廃止されるのはなぜか

## 佐久間克明 ..... P⑮

- 町長の考える経営感覚と財政に対する責任とは

## 佐藤 貴久 ..... P⑯

- ちょっと気になる施策をチェックする





たか はし よし お  
高橋 芳男

# 問 認知症の 早期発見・対応を

答 ケアパスの普及を推進する



▲地域包括支援センター

**問** 認知症ケアパスについて考えを問う。

**町長** 平成26年度に策定する第6期介護保険事業計画の中に盛り込み、3年に一度の事業計画の見直しに併せて修正を行いながら、平成37年までに完成した形の認知症ケアパスを構築していきたい。

**問** 認知症地域支援推進員について考えを問う。

**町長** 昨年、地域包括支援センターの職員3名が受講している。現在はその職員により、

認知症の方の相談受付、支援機関とつなぐ活動等を開始しており、今後は、相談・支援業務の体制づくりを整備していく。

**問** 市民後見人の育成について考えを問う。

**町長** 研修の実施、後見等の業務を適正に行うことができる者の家庭裁判所への推薦等について示されている。どのような形で育成支援ができるか検討していく。

## 難病関連2法への対応は

**問** 難病医療法・改正児童福祉法に対する医療費助成を大幅に拡充し、総合的に支援の取り組みは。

**町長** 難病医療法が施行されることで、対象疾患の拡大等がされ、財源の確保等で制度の安定化が図られるものと考えている。医療費助成の申請、決定等一連の流れ

は県の負担により行われている。障害者総合支援法に定める障がい児に難病が加わり、障害福祉サービスや相談支援の対象となったことで、居宅介護や短期入所、共同生活介護等の障害福祉サービスの利用希望があれば、障害程度区分認定を行いサービスの支給を行う。

## 鳥獣被害防止対策の強化を

**問** 改正鳥獣保護法について考えを問う。

いので、今後各市町村の状況をしながら、有害鳥獣駆除隊等の関係機関とも相談しながら対応していく。

**町長** 法律改正による政令・省令等がまだ出ていな

一般質問



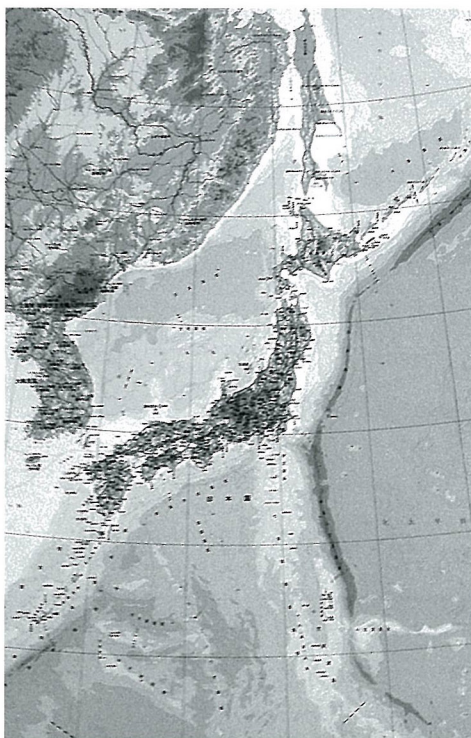
# 問 学校教育の環境整備を

答 様々な形で検討する



おお ぬま 大沼  
ただ ひろ 忠弘

## 一般質問



▲教室に正しい日本地図の掲示を

**問** 領土・領海問題も含め、離島等が省略されていない広範囲に国土を有する国である事を示した正しい日本地図を普段から目にする環境を整備する考えは。

**教育長** 学習計画の中での活用と世界の中の日本を学ぶことにつながるなど様々な形で検討。

**問** 授業で町史に触れる時間はあるか。

**教育長** 社会科副読本「私たちの大河原町」を使い学習している。

**問** 町独自に取りあげていることはあるか。

**教育長** 教育委員会で新た

に作成する（仮称）「大河原の先人集」で松山京子先生についてなど取り上げて

## 施政方針と具体的な事業内容を再確認

**問** 古着回収事業の今後の継続は。

**町長** 季節の節目ごとの実施を検討。

**問** 災害時協力井戸の取り組みの考えは。

**町長** 井戸保有者への呼びかけと自主防災組織等との協議を行い、醸成と推進を図る。

**問** 水曜窓口業務延長の案内が不十分では。

**町長** 5月よりHPに掲載している。

**問** 「おおがわら町民学園」の具体的内容と組織は、長期総合計画に示されている総合型地域スポーツクラブとのすみ分けは。

**町長** 10月開始を目標に準

行くほか、工夫をこらした授業が行われている。

備中、町が主催する健康教室、文化、スポーツ活動を対象事業とする予定。生涯学習課が取りまとめ役になり、関係課が連携して進める。総合型とは競合せず、相乗効果を発揮できるものと考えている。

**問** 障がい者が行えるスポーツの施設、種目、用具の整備状況は。

**町長** 現在整備されていない、検討したい。

**問** 財政健全化の手法として外部人材採用などの考えはあるか。

**町長** 外部人材採用は難しいと考えている。企業会計方式の導入や行財政区を進める中でPFIなどの導入にも取り組みながら、財政健全化を含めた自治体運営に努めていく。





おかざき  
岡崎

たかし  
隆

# 問 円滑な行財政運営を 図るべき

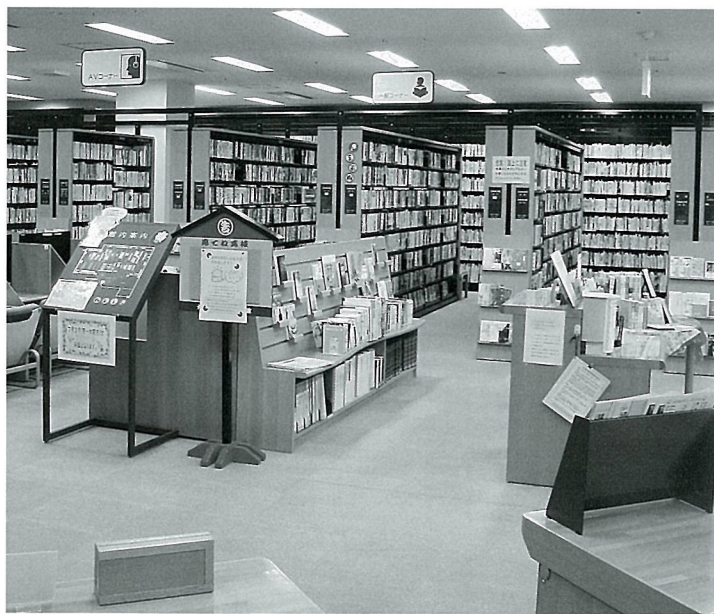
**答** 具体的に今答えることではない

厳しい財政状況の中、あるものを活かして町民サービスを低下させることなく合理化していく取り組みが更に求められる時代となったことと併せて職員の意識改革、仕事改革も重要であると考えている。

**問** 町長施政方針に「公共施設の利用状況や老朽化等の現状を把握し長期の視点に立ち更新・統廃合をする」とあるが、既に取り組みを決めた事業、予定する事業があるのか。

町長 将来人口、利用状況を踏まえ、計画策定に着手する。現段階で具体的に答えることはできない。

## 一般質問



▲駅前図書館

**問** 関連し「絵本のへや」もその一つと捉える。利用者である一部の町民との摩擦は解消されたのか。

町長 世代交流プラザ、中央公民館、金ヶ瀬公民館への機能移転の説明をしたが、突然あの場所からの撤退は理解できないとの厳しい指摘をいただいた。

**問** 現状を変える以前に、町民に向けての周知も図らずに一方的に乱暴な内容で張り紙がされたこと等、町側の瑕疵は明白。到底謝罪で許されることではない。

どう受け止めているか。

町長 謝罪してご理解いただければと考える。

**問** 絵本のへやの利用状況は決して多いとは言えないが、利用者からは大切にされてきた。しかし私は町民の税金の公共性を責任ある立場で審議する議員の一人として、今回は絵本のへやのみの存続に特化した議論には疑問がある。絵本のスペースを一部残すことも視野に入れ、図書館には自習するスペースが無く、自由さを訴える町民の声も多い。また桜を紹介するパネルの設置や、健康増進のスペースが欲しいとの声もあった。柔軟に今一度住民と議会と議論を深めて結論に至ってほしいがどうか。

町長 今一度議会に新たな提案を検討することになると思う。より公共性の高い事業を検討することとする。



# 問「絵本のへや」は 存続すべき

答 廃止して機能を分散する



まん なみ たか こ  
万波 孝子



▲駅前オーガ2階「絵本のへや」

## 一般質問

3月議会閉会后、町民から「絵本のへや」を廃止する話が出てきたが、町の考えに納得いかない、話をしたいという連絡があつて、初めてこの事を知った。年間契約していたにも関わらず、8月末閉鎖には驚いた。町当局の進め方に憤りを感じている。せつかく根付いた宝庫の絵本のへやは、存続と一層の充実こそ求められているのではないか。

問 意見も聞かず突然何故閉鎖なのか。議会軽視、町民無視ではないか。

町長 お詫びする。管理運営会社との賃貸契約の関係で撤退時期の見通しが定まらず、一年分を計上した。絵本のへやの機能をいきい

きプラザと公民館で活用し、図書館での利用者の利便性を損なうことなく、効果的な取り組みができると判断した。

問 存続と拡充こそ町民に応える道ではないか。

町長 効率的・効果的实施を図るために総合的にした。

問 図書館運営審議会の設置が必要と考えるが。

教育長 今後検討する。

## 昼間予約が取れない デマンド乗合タクシー

問 大変喜ばれているが、町が把握している苦情や改善の声とは。

以上待つても来ないので、タクシーを利用した。台数増で改善は。

町長 予約が取りにくい、運転手の対応、帰りの待ち時間が長い。運行時間の延長。土曜も運行を。乗降時にステップが高くて困る等。

町長 運転手の休憩時間の関係で2台で運行。今後タクシー会社と協議する。

問 今後の検討課題は。

問 昼前後に申し込んだが、いつばいで断られた。30分

町長 収益の改善や利用者の増加、サービスの向上等。

## 生活困窮者に救済の手を

問 町は減免制度を積極的に活用するという姿勢になつているか。生活困窮者に救済の手を差し伸べていくべきで、減免制度の周知を徹底すべきでないか。

町長 指導を徹底する。制度の周知は、納税通知書に説明のチラシを同封している。ホームページでも紹介している。





ます 和也  
か ず や

## 問 公約・老人ホーム設立に どう取り組む

答 本年度、高齢者福祉計画  
策定の中で検討する

問 NEXT大河原ゆめプ

全国レベルではあるが特別養護老人ホーム（特養）への入居を希望する待機者は厚労省の昨年の調査で52万4千人、全国8千力所の特養で暮らす約51万人を上回っている。当町の特養待機者数も平成24年4月で249人（重複計上含）平成25年4月341人、平成26年4月422人（県長寿社会政策課公表）と年々増えている。本年当町の桜寿苑の30床の増床により待機者数の若干の改善は図られるが、町長の初期の思いを達成するには程遠い現状である、残された任期の中でどう取り組もうとしているのか。



### 一般質問



▲増床された桜寿苑

社計画策定の中で検討とあるが本当にこれで形になるのか。

町長 介護保険制度改正の内容や老人ホームの新規入所者数なども考慮し、計画と老人ホーム設立が関連するので高齢者福祉計画策定の中で検討する。

問 介護保険施設設立は公約の中で特に重要であるので、施設設立等を含め待機者数の改善を図る専門チームを編成する考えはないか。

町長 課長などで構成される政策企画会議等また介護

## ため池・用排水路等の 安全施設の再チェック

問 子どもたちの水難事故が多くなる季節、安全対策は、

町長 今後も危険防止に努め対策をとる。

保険等運営委員会からの提言をいただきながら進めるので専門チームは考えない。

問 介護職員の不足等を考えれば在宅介護も良いと思うが町民が優先できる29人以下の地域密着型特養を設置するのが良いと思うが。

町長 家族で介護をしたいとか働きながら介護をするのは難しい等いろいろなニーズがあるので今後総合的に検討する。

問 新たな社会福祉法人が特養を計画した場合、どのような支援が考えられるか。

町長 大事な検討課題として取り組んでいく。



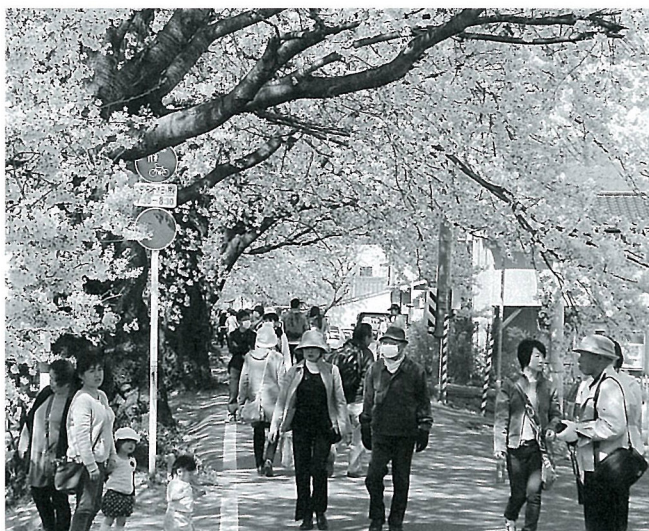
# 問「さくら」による 町おこしを

**答**

さまざまな角度から  
検討を重ねていきたい



あん どう せい お  
安藤 征夫



▲観光客で賑わう桜並木

今年の桜は天候にも恵まれ、観光客は26万人と全国でも有数の桜の名所との評価を得た。舟下りやライトアップ等、様々な工夫がなされているが、今後は年々

多くなるお客様の受け入れ態勢の強化等、更なる工夫が必要と考える。

**問** 会場に向かう車両の渋滞はピーク時に数キロ以上

にもなる。ドライバークの負担軽減、トイレ休憩、抜け道などの情報収集や農商工連携の拠点として「道の駅」があつたらと考える。この時期に限らず、地場産品の販売等活気のある「道の駅」をつくり、産業振興策を今一

## 一般質問

度町長は考え直すことはできないか。

**町長** 桜まつりとは結びつかないと考えますので、お答えすることはできません。

**問** 駐車場不足は民間の空き地や駐車場の提供を今後町民に協力を募り、世代交流いきいきプラザの駐車場も開放できないか。

**町長** 自主的に駐車スペース

## 公民館に民間の

### 経営手法を活用すべき

**問** 公民館を指定管理者制度にしているのか。

**教育長** 近隣市町村の状況を考慮し行政改革大綱の環境として検討する。

## 昆虫標本の一部売却の考えは

**問** 町が所有する昆虫標本は1200箱あり、同種の標本も多数ある。昆虫展等では400箱もあれば十分であり、残りは売却を検討してはどうか。

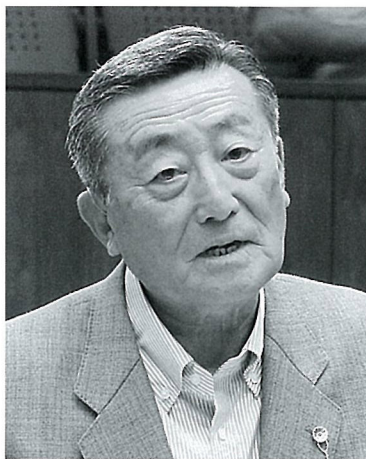
**教育長** 約20年程前に渡辺徳氏より寄贈（二部購入）されたものであり貴重な財産である。管理も含め、柔軟に前向きな検討をする。

スを提供した親切な町民もあつたと聞いている。今後検討する。

**問** 弘前市との姉妹都市・災害支援の相互協定を申し出てはどうか。

**町長** 是非とも進めていきたい。また、ミス・ミセスさくら等のコンテストの開催や、マラソン大会の提言もあつたが、様々な角度から検討を重ねていきたい。





しょう じ 庄司  
みちる 充

# 問 仮称大河原町・新町民体育まつりの復活を考える

## 答 行政区の事情を考慮し検討する

我が町では戦後町民の最大イベントとして最高の楽しみは年に一度の「町民体育祭」であった。昭和30年代から昭和50年あたりまでの20年間でピークであったと記憶する。その後我が町の人口は年々少しずつ増加しているものの少子高齢化はまぬがれず、いつしか「町民体育祭」は消滅寸前である。最近頃に町民の間から「町民体育祭」復活の声を聞く。そこで町長に次の事について伺う。

**問** 体育祭の正式名称は何んというのか。

町長 大河原町民体育まつりという事業である。

**問** 町民体育祭は過去何回実施され、第何回で中断しているのか。

町長 昭和30年に第一回目が開催されこれまで25回行われ平成15年で中断され、平成23年再び開催された。

**問** その時、以後の大会の実施はいつにしたのか。

町長 決めていなかった。

**問** 近年最後の体育祭の直接経費はいくらか。

町長 総経費は218万円。

**問** 町民体育祭を行政区レクリエーション補助事業に切替えた理由は何か。

町長 行政区長や役員に選手集め等で大きな負担を掛けるという現実がある。

**問** 行政区レクリエーション補助事業になったのはいつからで現在実施している行政区は何区あるのか。

町長 平成17年度から町民体育祭りに代わる事業として実施した。43行政区の内



▲平成23年に行われた新・町民体育まつり

29行政区が実施している。

**問** 町長は、町民体育まつりは大河原全町民が一堂に会して、健康増進や交流親睦の場として活動できるとも重要な事業と促している。

私の提案だが、今後体育まつりを復活するのであれば、オリンピック方式にして4年に一度を実施してほしい。その年は行政区レクリエーションを休みにして各区町民体育まつりに全力参加してはどうか。

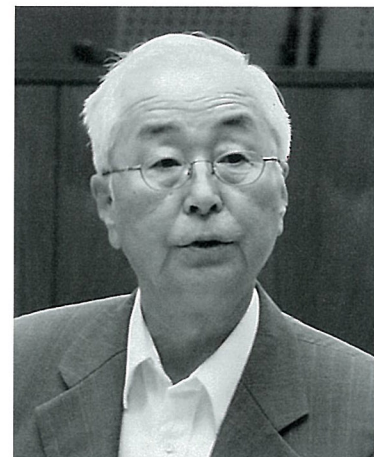
町長 今後、町民体育まつりを開催するかどうかについては、行政区の事情等を考慮しながら庄司議員の案を十分考慮にして、検討していく考えである。

### 一般質問



# 問 どうする空き家等対策

## 答 空き家対策条例を検討

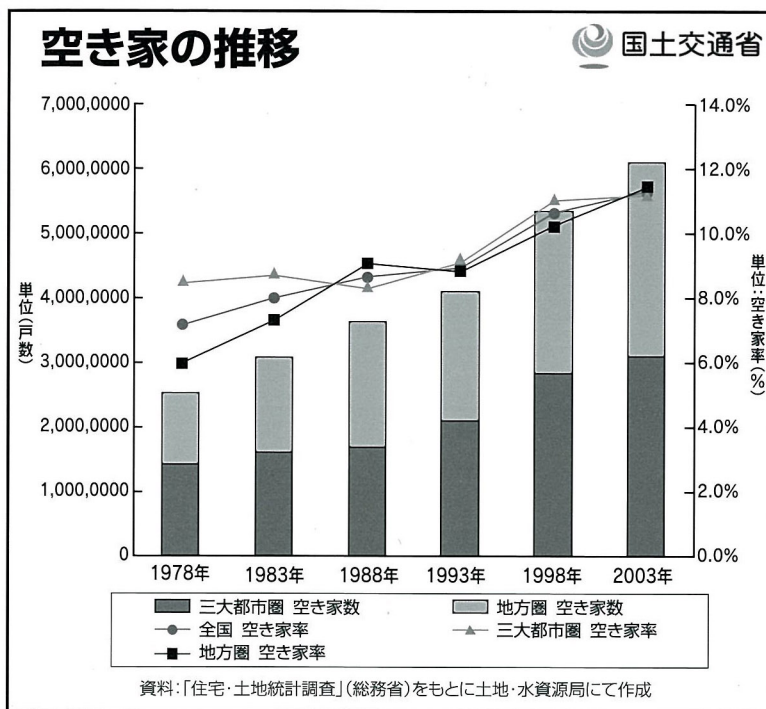


ほり え かず お  
堀江 一男

### 一般質問

空き家が放置され、近所の住民の生活環境に悪影響を及ぼしたりしているものも

多々見受けられるので、町の対応について質問する。



▲全国的にも増加する空き家

**問** 空き家の状況をどの様に把握しているのか。

**町長** 独自の調査は行っていないが25年度の苦情内容については6件あり、家屋所有者に適正管理を依頼した経緯がある。

### 側溝等の汚泥処理

**問** 福島第一原発事故により、町も農作物や土壌等が汚染された。しかし、原発事故から3年3カ月経過しても未だ解決せず、側溝は土や枯草等で埋まり、台風が多発、大雨が予想されている中、側溝があふれ、冠水被害が心配される。いつになったら側溝の汚泥をあげられるのか尋ねる。

**問** 汚泥置き場の問題はその後どのように進展しているのか。

**町長** 町有地や民有地を含め設置場所を検討しているが設置に賛同を得られないような適地が見当たらない現状です。

**町長** 現在のところ側溝土砂の保管場所が設置できていないことから、今すぐに土砂を回収することは困難であることを理解願いたい。

**問** 住民なら誰も近くに置いてもらいたくない気持ちも理解できるが、いつまでもこのままの状況では済まされないが今後の対応について尋ねる。

**町長** ほとんどの市町が従来通りの維持管理を行って

**町長** 引き続き仮置き場の設置について検討していく。

**問** 美里町では「美里町空き家等の管理に関する条例」を制定したが、町としても条例が必要と思うが町長の考えは。

**町長** 議員ご指摘の「空き家対策条例」の取り組み事例を参考にベストな対策を検討する。





す どう しん  
須藤 慎

# 問 公園等への複合遊具・健康遊具導入を

答 設置を検討していく



▲広表3号公園の健康遊具（広表2号、末広公園にもあります）

**問** 今年度の公園遊具修繕と改修工事内容を探ねる。

**町長** 小島3号公園・緑町公園・高砂公園の複合遊具修繕、台部児童遊園ブランコ修繕、大河原公園、西桜1号公園、南桜公園、中部2号公園、東原町公園ベンチ修繕。東青川公園ジャングルジム、南桜公園、中島公園、東原町公園回転ジャングルジム改修、山崎公園の藤棚の建替え。

**問** 厳しい財政状況下、今後公園等に順次新しいタイプの（二基で複数の遊びができる）複合遊具や（大人向けの）健康遊具設置を望む。

**町長** これからの公園の役割を考えた時に高齢者が集

う場所として健康遊具設置の必要性も理解しているので、建替えの際、既存遊具改修との調整を図り、費用対効果等を含めて設置を検討していきたい。

**問** 仙台市や柴田町、村田町では補助金（地域介護・福祉空間整備促進交付金）を使って健康遊具の設置を進めているが、なぜ補助金を活用しなかったのか。

## 職員研修に積極参加を

**問** 今年度150万円（前年度費100万円増）の職員研修旅費の予算が確保されたが、人材育成の観点からも重要であり、積極的に活用していただきたい。

**町長** 専門分野の研修、県内外の先進地視察研修などに活用していきたい。

**問** JAMP（市町村職員中央研修所）やJ-AM（全国市町村国際文化研修所）等の研修にも積極的に参加させることにより、町・町

健康福祉課長 後から気づいた。今後活用していきたい。

**問** 世代交流いきいきプラザ南側空きスペースに幼児用遊具等を設置し、有効活用すべきである。

**町長** イベント等に活用する他、防災機能も併せ持つことから一定程度のスペースの確保は必要と考える。

民のため更なる見識を高めていく考えはあるか。

**町長** 通常業務の関係などから参加し難い状況もあるが、今年度JAMPでの専門研修受講を検討している。

**問** 職員研修計画の策定、OJT、メンター制度の導入等も必要と考えるが。

**町長** 職員研修計画の策定、更には職員の人材育成に係る基本的な方針等について検討すべきと考えている。



# 問 「絵本のへや」が突然 廃止されるのはなぜか

**答** 機能を一部移転、分散したい



まる やま かつ とし  
丸山 勝利



▲「絵本のへや」での読み聞かせ

## 一般質問

れる。「絵本のへや」の機能を一部移転したい。

**問** 子育て支援室が「絵本のへや」の隣にあつた3年間で絵本の貸出数は増えていない、逆に減っている、利用者減は限定的と思われる。そもそも世代交流いきいきプラザには「絵本のへや」の移転計画は無い、交流スペースのロビーに無理やり絵本を並べても両方便いづらくなる。3月議会で「絵本のへや」の予算が計上され議決されているが、廃止や一部移転の話は無かつた、場当たりの思い付きではないか。

**問** 「絵本のへや」は、幼児や未就学児の読解力向上と情操教育にとつて必要不可欠で重要な施設である。廃止ではなくさらなる充実が図られてもいい施設ではないか。

**町長** 財政状況や「世代交流いきいきプラザ」に子育て支援室が移動したので利用者が「絵本のへや」と重複していると思わ

**町長** 説明が遅れてしまったことに対してあらためてお詫びする。契約が今年の3月で切れるのが分かり、契約上半年前の連絡をしておかなかったため契約内容が決まったのが2月になってしまった。

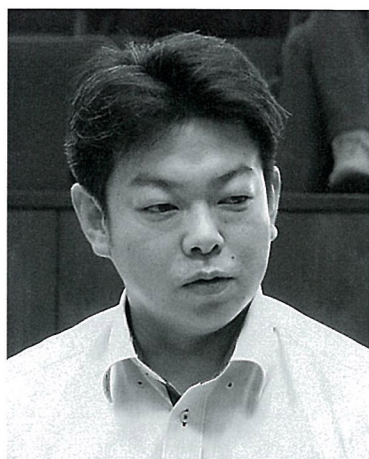
**問** 「絵本のへや」存続に関する請願が出されているが請願が採択された場合の対応は。

**町長** 採択されても「絵本のへや」の機能移転と分散化は進める。また、別の使い道を検討することについては存続採択に矛盾する。

**問** そのまま「絵本のへや」で様子を見て利用状況などを調査確認してから機能移転や分散を考えてもいいのではないか。思いつきの政策とは思えない。また機能分散は大河原町の財政状況を見ても現実的ではない。

**町長** 町として方針決定したことなので、このまま進めたい。





さ く ま かつ あき  
佐久間克明



## 一般質問

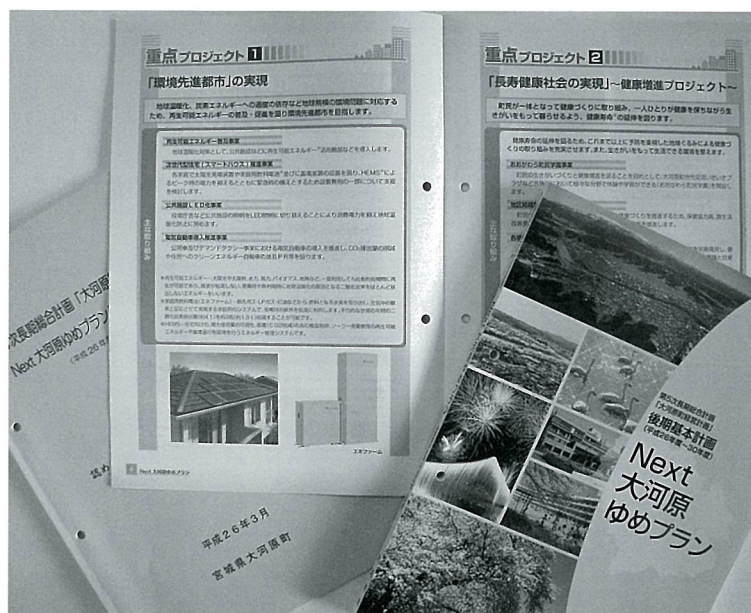
# 問 町長の考える経営感覚と財政に対する責任とは

**答** 将来を見越せる安定して  
効率的な財政運営を図ること

**問** 国や県の助成で整備する太陽パネルの余剰エネルギーをデマンドタクシーや一般住民へ提供すると言うのは本来の施策の在り方に反するのではないか。

町長 太陽パネルは防災拠点となる町の施設に国の補助により整備するものだが、それにより発電した電気の用途について特に指定がない。個人へのエネルギー提供は環境に貢献する意欲の高い個人を後押しすることから、本来の趣旨に沿ったものと考えている。

**問** 老人ホーム設立検討事業は目玉公約だが「次期高齢者福祉計画を策定する中で検討する」と後退した内容になっているのはなぜ



▲「開かれた先進のまち おおがわら」を目指して

か。平成26年から28年の予算がゼロとなつていいる。実施計画として載せる以上は事業費がいくらぐらい必要なのか具体的に示してほしい。昨年12月議会においても質問しているので、その後の検討内容も含めどうなっているのか。

町長 第6期介護保険事業計画を策定する中で検討し

**問** 町の財政に対する認識の甘さと経営感覚の無さが不誠実な経営と言わざるを得ない。実施計画と整合性のある今後の財政見通しを改めて揭示することを要求する。

たい。平成27年から29年までに新たな介護保険料を算出し3月議会に条例改正について諮りたい。今後、検討していくので現時点で事業費は示すことができない。

町長 5年後の財政調整基金残額を10億円。財源確保は5カ年で1億5000万円確保。歳出は5カ年で8億5000万円の減額を目指す。歳入歳出差引額に不足が生じた場合の財政調整基金取り崩し5カ年で5億6800万円見込。財政シミュレーションは平成26年度予算で取り崩し額1億8900万円としたが、実際は3億2950万円行った。



# 問 ちょっと気になる 施策をチェックする

## 答 重点プロジェクトと公約の 事業費は試算していない



さとう ひさ  
佐藤 貴久

### 一般質問

**問** 4月6日に古着リユース事業が実施された。成果はどうか。今後どのような事業展開を行うのか。

**町長** 約500人の方から8・5t、想定量の約4倍。今回は7月26日に開催する。

**問** スマートハウス推進事業は、効用の高い事業となれるのか。一般家庭において、普及率はどうか。

**町長** 現在の補助実績は太陽光4件、燃料電池はゼロ件。今後も積極的に推進していく。

**問** 経済産業省への職員派遣において、適正度チェックは行われたのか。

**町長** 若い職員を対象に考えた。勤務状況、意欲、責任感から選任した。

**問** 中学生までの子ども医療費助成拡充によるコンビニ診療の増加が危惧される。対策は万全なのか。

**町長** コンビニ診療対策に関して、手を尽くしてきた。今後の課題とする。

**問** ある日突然、絵本のへやが消えた。これは何を意味するものか。

**町長** 機能の分散化で更なる効果を期待する。

教育長 教育関係予算、広報等の責任は私にある。

**問** おおがわら町民学園事業と消費拡大事業との連動性とは何か。

**町長** ポイントカード制を導入し、参加した人に「さくらカード商品券」を付与する。カードの管理、運用は職員が担当する。

**問** 施政方針に、NEXT大河原ゆめプランを着実に達成するため、新たな財源の確保に努めるとある。具体的な方策はあるのか。

**町長** ゆめプランの重点プロジェクトと公約の事業費トータルは試算していない。

**問** 12月4日に5カ年の財政シミュレーションを説明



▲好評だった古着リユース事業

しているが、起債の充当が増加する。新たな財政計画を示すべきではないか。

**町長** 財政見通しは、前回示した計画とほぼ同じ数字だが、新たな財政計画を示す検討をする。



## 《平成26年第1回定例会(5月会議)・第2回定例会(6月会議)議案等審議結果》

# 議決責任の明確化

| 件名                                | 議決月日 | 議決結果 | 議 員 別 表 決 結 果 一 覧 |      |       |       |      |       |       |      |       |      |       |      |       |      |      |
|-----------------------------------|------|------|-------------------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|
|                                   |      |      | 佐久間克明             | 須藤 慎 | 大沼 忠弘 | 高橋 芳男 | 岡崎 隆 | 丸山 勝利 | 堀江 一男 | 枅 和也 | 佐藤 貴久 | 庄司 充 | 万波 孝子 | 佐藤 巖 | 安藤 征夫 | 山崎 剛 | 秋山 昇 |
| 仙南夜間初期急患センター条例の制定                 | 5/23 | 可決   | 欠                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 平日夜間初期急患外来医療に関する事務の受託<br>(仙南2市6町) | 5/23 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること           | 6/19 | 可決   | 投                 | 投    | 投     | 投     | 投    | 投     | 投     | 投    | 投     | 投    | 投     | 投    | 投     | 投    | 議    |
| 仙南土地開発公社の解散について                   | 6/19 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 平成26年度一般会計補正予算(第2号)               | 6/19 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)           | 6/19 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 平成26年度公共下水道特別会計補正予算(第1号)          | 6/19 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 工事請負契約の締結<br>(仮称) 西地区交流センター整備工事)  | 6/19 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 総務文教常任委員会調査報告(道州制に関する調査)          | 6/19 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |
| 「絵本のへや」存続に関する請願書                  | 6/19 | 可決   | ○                 | ○    | ○     | 退     | ×    | ○     | ×     | ×    | ○     | ×    | ○     | ○    | ○     | ○    | 議    |

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席、除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

## 政務活動費はこのように使われました。

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。

### 平成25年度政務活動費支出状況

(単位：円)

| 会 派 名 | 議 員 名          | 支出総額    | 収 支 内 訳 |        | 返 還 額  |
|-------|----------------|---------|---------|--------|--------|
|       |                |         | 町からの交付額 | 会派負担額  |        |
| 新 政 会 | 堀江 一男<br>枅 和也  | 178,663 | 165,000 | 13,663 | 0      |
| 清 清 会 | 佐藤 貴久<br>山崎 剛  | 117,948 | 130,000 | 7,948  | 20,000 |
| 青 葉 会 | 安藤 征夫<br>秋山 昇  | 101,428 | 120,000 | 0      | 18,572 |
| 政 道 会 | 丸山 勝利<br>佐久間克明 | 117,948 | 100,000 | 17,948 | 0      |
| 緑 の 会 | 岡崎 隆<br>庄司 充   | 111,338 | 110,000 | 1,338  | 0      |
| 日本共産党 | 万波 孝子          | 55,024  | 55,000  | 24     | 0      |
| 公 明 会 | 高橋 芳男          | 58,974  | 55,000  | 3,974  | 0      |
| 一 心 会 | 大沼 忠弘          | 58,974  | 55,000  | 3,974  | 0      |
| 一 政 会 | 佐藤 巖           | 55,669  | 35,000  | 20,669 | 0      |
| 合 計   |                | 855,966 | 825,000 | 69,538 | 38,572 |

※年度の途中で会派間の異動があったため、合計額は一致しません。

### 《政務活動費支出の内訳》

調査研究費(視察研修費用)/資料購入費(図書等購入費用)/広報広聴費(新聞等の発行費用)

### 《調査視察研修の主な内容》

新政会/緑の会/一政会➡岩倉市「議会基本条例」「多世代交流センターの運営状況」

清清会/青葉会/政道会/公明会/一心会

➡静岡市・富士市「給食センターの運営状況」「衣類等回収事業」



# 町への提言 委員会調査・研修

## 議会運営員会視察研修

### 議会改革・議会活性化の取り組み

#### 【岩手県花巻市議会】

花巻市議会基本条例は平成22年6月から、議会倫理条例は平成26年4月から施行されている。

議会基本条例は平成21年9月議長から諮問を受けた任意の「議会改革検討委員会」を設置し、その中に基本条例検討小委員会を設け、検討委員会で素案を策定し、パブリックコメント、研修会等を通じ、広く市民からからのたくさんの意見、提案をいただき、その数は308件にも及んだ。諮問から制定まで9カ月、実質6カ月の中で、小委員会・特別委員会併せて44回の開催と、かなりハードであった。

議会報告会の状況等について、2年目までは年2回、3年目には土日の開催も行ったが、参加状況等には変わりはない。地域の旬なテーマ、子育て支援や地域防災等のテーマ設定は、市民からの評価が良かった。報告会開催まで4、5回の班会議を開いて、役割分

担、会議の進め方、開催地域の情報収集等を行っている。課題としてはテーマ設定、若者・女性の参加向上策、市民との対話方法、参加者の偏り解消等をあげている。

議会基本条例では、議会改革を一時的なものとせず、継続的な取り組みとするため、「議会改革推進会議」を設置している。当議会としても第22条「検討」にもあるように、条例制定後の検証を行い、また、町民の意見を聞く場を設け、条例をより良いものにしていくことが大切である。



▲花巻市議会より説明を受ける

## 総務文教常任委員会

### 道州制導入に反対する意見書への対応

道州制推進基本法案（骨子案）に対する6団体の意見「道州制の導入には断固反対」道州制の問題点（全国町村議長会）、「道州制推進基本法案（骨子案）について（回答）（自由民主党道州制推進本部）」を参考に調査を進めたが、いずれも偏った内容であり、委員会だけで賛否を決することは不可能とのことでした。

全国知事会・市長会、全国都道府県市議会議長会では、不安要素はあるものの、賛成の方向性が強く、町村会レベルでは反対が圧倒的に多い。非常に難しい問題であり、議会全体で議論を深め、慎重に判断、決定すべきである。

## 産業建設常任委員会

### 中核病院西線整備事業

交付税の減額等により工期が当初27年度完了予定から2年延期となっている。

中核病院へのアクセス道整備の必要性はより一層高

まっている。出来るだけ早い完了、供用を目指し、鋭意努力すべきである。

### 県道蔵王大河原線新寺改良工事

工事自体は県事業であるが、新開地区のゲートボール場付近の道路拡幅が同工事に伴って、町の事業として行われるので、地域住民の要望に十分配慮しながら整備に努めるべきである。

### 鷺沼排水区雨水整備事業

長年の懸案であった鷺沼排水区の雨水対策。完了まで15年に亘る大事業であるが、冠水、浸水被害の早期解消を目指し、早期完成に努めるべきである。



▲館山下県道とJR間の雨水幹線整備



# その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

## 大河原中学校グラウンドの整備を



▲水はけが悪い大中グラウンド

## 町立病院跡地の有効活用を



▲世代交流いきいきプラザがオープン

### 提言

町民に幅広く利用される大中グラウンドは長年水はけが悪く、改善を利用者が強く要望している。暗渠設備を早急に計画し実現に向けた検討をしてほしい。

平成11年  
3月

平成26年  
6月

### 追跡結果

未解決

平成21年度に縁石の除去が行われただけで水はけの改善に向けた取り組みは行われておらず、一度大雨が降ると中学校のグラウンドを利用する生徒は何日間も思うような部活動ができない。町長公約には芝生のグラウンド整備も盛り込まれたように記憶しているが今後に大きく期待したい。

### 提言

二度と手に入らない土地の有効活用のために、地元住民の意向も聞きながら医療、福祉施設の建設を検討する考えはあるのか。

平成11年  
6月

平成26年  
4月

### 追跡結果

解決

平成26年4月1日、旧町立病院跡地に「世代交流いきいきプラザ」がオープン。町民が世代を超えて交流するスペースに子育て支援室と放課後時児童クラブを併設し子どもの健全育成の場所としての機能も有する。設置にあたり住民説明会での要望を受け避難所としての機能も備えた施設が完成した。



## こんな町に住みたいな



金ヶ瀬小  
佐藤 大知



金ヶ瀬小  
大村 暖奈

ぼくは笑顔あふれる大河原が大好きです。小学校に通う時、金ヶ瀬の人たちは笑顔であいさつをしてくれるので、今日一日をがんばっていけそうになります。その笑顔は「二目千本桜」の美しさにも負けないくらいだと思います。

この大河原町に本格的な野球場や、となりにゲートボール場ができればいいと思います。なぜなら、ぼくは野球をやっていて、ぜひ大河原で試合をしたいし、お年寄りの人たちがとなりでゲートボールをしていたらうれしいからです。そしてもっと笑顔があふれる大河原町になってほしいです。

私が住んでいるこの町には、たくさん公園があります。よく行く公園には、小学生だけではなく、小さい子どもやお年寄りの方もいて「こんなにちは」とあいさつをする笑顔で返してくれます。多くの人が安心して遊べる場所があるのはとても良い事だと思います。

その公園で気をつけること、気をつけてほしいことは「汚さない」ということです。時々ゴミが落ちていて「誰だろう、いやだな。」と思う時があります。

自分のゴミは持ち帰り、いつまでも楽しくて笑顔でいっぱい公園、明るい大河原町であってほしいです。

## 9月議会のお知らせ

招集日 9月5日(金)・再開日 9月11日(木)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800

## 議会広報編集

### 特別委員会研修

これまでは県内外で実績のある議会に学ぶべく、訪問し、ご教示願う研修を行ってきました。今回は初の試みとして、毎年東京で開催される全国町村議会広報研修会に参加した。



2日間の研修ではテーマに専門講師による実例をふまえた講義、広報クリニックスでは4つの分科会に分かれ、当町の議会だよりも実例としてご指導・コメントをいただいた。

全国各地の広報誌を題材とした分科会は、広報編集に携わって行く上で実に参考となっただけでなく、委員会全員で編集における共通認識として統一が図られた事は非常に有益であった。今号からも研修での内容を誌面に反映しており、手にとってみたく、読む、読んでみたく、誌面作りに今後も取り組んでいきます。

## 議会改革度調査2013 全国32位

通年議会の試行から始まった我々の議会改革は、その後の機能強化、情報公開の充実が評価され、4年前の1741自治体中1098位から昨年度32位と躍進を遂げた。今後は更なる住民参加を目指していく。

驚くことに渦中の兵庫県議会も91位と高順位であった。このことから今住民が強く望む「議員個々の資質向上」が伴わなければ改革は「絵に描いた餅」であることを認識し、今後活動していくことが重要である。

## 今回の表紙は

青空の下、7月15日桜保育所でプール開き。  
今年もみんな楽しく水あそびができますように。



(大沼 忠弘)

### 編集発行責任者

### 議会広報編集特別委員

|      |        |
|------|--------|
| 議長   | 秋山 昇   |
| 委員長  | 岡崎 隆   |
| 副委員長 | 佐久間 克明 |
| 委員   | 万波 孝子  |
|      | 高橋 芳男  |
|      | 大沼 忠弘  |
|      | 須藤 慎   |